

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アパホテル<博多駅 筑紫口>	階数	地上13F
建設地	福岡市博多区博多駅東1丁目189-1	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	600 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店,ホテル,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2019年7月16日
敷地面積	959 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 IAO竹田設計 大阪第二
建築面積	626 m <sup>2</sup>	確認日	2019年7月16日
延床面積	5,018 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 IAO竹田設計 大阪第二



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Qのスコア = 2.4

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.9

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	今回の計画では、駐車場の出入口を交通量を考慮し、大通り側ではなく北西の道路側に設置している。建物については、1階にレストラン・ロビーや駐車場などの共用部を配置し、2~12階は客室階、13階を客室と大浴場・プールなどを設ける配置計画としている。設備機器は周囲から見えにくい位置に配置し、配慮を行っている。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
客室において、昼光率に配慮し、共用部を含めてF☆☆☆☆の建材を採用している。また、建物内を禁煙とし、室内環境の向上に努めている。	設備配管の更新対策に配慮し、配管の支持方法を耐震クラスAとするなど、建物のサービス性能に配慮した設計としている。	標準的な配慮を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物全体のBEIm=0.87とし、建物の省エネルギー性能の向上に努めている。	LGS下地を採用するなど、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率87%とし、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される